

農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



《昭和六十年の相馬村の役職》

農協		村	
組合長	三上 敏雄	村長	山内 一義
専務	清野 一男	助役 (欠)	員
理事	山内 徳美	収入役	柴田 栄
	花田 恵幸	村議議長	溝江 修一
	種沢 義直	副	島口 正美
	島口 清治	議員	三上 則司
	沢田 鉄雄		宮川 克己
	花田 始		工藤 彰一
	三上 幸清		佐藤 正
監事	成田正次郎		成田 宣徳
	福田 義雄		山崎 隆雄
	大場 儀一		三上 春二
			山内 良幹
			沢田 正四
			三上 隆雄
			中沢 秀義
			田中 直衛
			齊藤 馨
			選管委員長
			農業委員長

農協の役員室。紙漉沢の竹一さんが入ってきた。いつもと違って今日は清水森のナンバを食ったような顔をしている。そして、前から来ている「油売り」に言った。竹一「オレエの爺様(ジサマ)が生きていたとき、誰も耕作していない○○の傾斜地に植えたりんご、いま、○○の○○が「あの土地は、オレエの土地だ。だから、りんごはオレエのものだ」と言っているのよ」

油売り「ウーン、それはサダ(沙汰)だよ」

オンベ「そのりんごは原則として土地の所有者のもの、と民法にあるぞうだ。あとは、畠の所有者の気持ちの問題だなー」

竹一「あのヨグタガレに、気持ちなど、ないよ。貯金もしないで、カネを家に置き、サツ(札)を数えるのが最大のタノシミだぞうだから…」

笑顔の家には
福が来る

ケチの家には
ホドも
寄らない

義信